わっかない 市議会だより

第 11 号
昭和55年2月1日
発　行
稚内市議会事務局
編　集
稚内市議会だより編集委員会

第14回新年子どもかるた大会の風景です。本年の1月19日・20日の両日体育館において熱戦が行なわれました。　写真提供は山下正夫氏です。

12月定例会の審査日程

12月11日（火曜日）本会議
一、開会宣告、会期の決定
一、市長の行政報告
一、決算特別委員会、産業経済委員会付託事件の結果報告、民生文教委員会の中間報告。
一、昭和54年度4会計補正予算と条例8件を上程、議案特別委員会に付託。
・昭和53年度3会計決算を上程、決算特別委員会に付託。

・12日と13日は議案精査休会

12月14日（金曜日）本会議
一、市政に関する一般質問
・自由クラブ（中座　昭）
・公　明　党（長野　博）
・日本社会党（岡谷繁勝）
・市政クラブ（岩泉重忠）

12月15日（土曜日）本会議
・日本共産党（水口勇三）

・17日から19日は議案特別委員会のため休会

12月20日（木曜日）本会議
一、議案特別委員長の報告
・21日から24日まで決算特別委員会のため休会

12月25日（火曜日）本会議
一、決算特別委員長の報告
・諸願等関係、意見書等関係

サハリン天然ガスの取組みとその受入れ構想は

（自由ク）

問　稚内沖の石油試掘は、地層の関係から断念されたようであるが、サハリン天然ガスの導入が具体化される中にあって、市長はこの誘致運動をどのように進め、どのように受け入れようとするのか、その構想を伺いたい。

答　サハリン天然ガスの誘致にあたっては、パイプライン輸送路の問題や価格の設定等については、明年から具体的なものが出てくると思う。

しかし、この点については稚内に重点を注がせることも、これからの大きな仕事でもあるし、この実現のために最大の努力をしていきたい。

日ソ共同事業のための訪ソと漁港の整備計画は

（自由ク）

問　漁獲物の絶対量確保のため、この際市長は訪ソされ、日ソ共同事業の実現を図られてはどうか。

また、二百カイリ影響によって落ち込んだ漁獲量を沿岸漁業で補うためにも、漁港の整備が急がれるが、この見通しはどうか。

答　日ソ共同事業の推進については、かなりむずかしい問題点もあるようなので、瀬戸会頭が帰り次第、この対応策について協議を行ない、必要によっては訪ソしたい。

また、漁港の整備については、いままでも行なってきているが、明年度は西稚内漁港、再来年は声問漁港ということで取り上げていきたい。

市立病院の改築位置と不在固定医の見通しは

（自由ク）

問　市民が生活福祉の面で最も要望することは、市立病院の改築と医師の充実であるが、この改築にあたっては、現在地ではなく他に求めなければならないと思うがどうか

また、固定医不在の診療対策をどのように考えていくか

答　現在の病院側の意向は現在地では適当ではないとの考えがあるようなので、改築にあたっては、20人ぐらいの構成で病院建設委員会を設置して、この中で検討してもらいたいと思う。

また、医師の固定医については、明るい見通しになってきているが、もう少しご辛棒願いたい。

海底ボーリングの経過と今後の計画は

（公明党）

問　国際的な石油危機の中で、今夏の稚内沖海底ボーリングは、市民の注目を集めていたが、地質の面で中止のやむなきに至つたようであるがこの点に関する経過と今後の計画はどのようなものであるか。

答　昨年はノシャップ沖で試掘を行ない、ことしは稚内沖で行なったが、いずれも地質的なことや技術的なことで断念をしたようである。

しかし、来年は声問、増幌、豊富、サロベツ、天塩、遠別まで含めた陸地を試掘するようであり、その可能性はあるようである。

市民館とごみ焼却炉の建設見通しは

（公明党）

問　市民館やごみ焼却炉の早期建設が、本市の今後における行政課題であると思うが市長はどのように考えるか。

答　ごみ焼却炉の建設については、どういう機種でどの場所に設置し、その余熱をどのように利用するかということで、目下検討を進めている。

また、市民館の建設については、用地問題が解決次第、着工していきたいが、モデルとしては釧路、江別、北見を参考にしたい。

12月議会の概況

十二月定例会は、十二月十一日から二十五日まで十五日間と会期を決定したあと、

市長の行政報告は

①飛行機の通年運行
②水産公社の内容
③サハリン沖石油ガスの開発状況
④雇用促進住宅の本市における建設計画
⑤大型巡視船「れぶん」の配属に至る経緯

等について行なわれました。

また、各会計補正予算、各条例の一部改正案については、議長を除く三十一人構成の議案特別委員会を設置して、三日間にわたって、慎重に審査を行ないました。

改築見通しがついた市立病院

天北肉牛の将来展望は

（公明党）

問 現在、乳価不安が続いているが、これらの打開策として天北肉牛の育成肥育に重点を注ぎ、JFと価格や肉質の面で提けいすることによって、酪農家の経済安定に寄与できると思うが、将来的にはどういう見通しであるかを伺いたい。

答 天北肉牛のJFとの提けいは可能であるが、酪農家は肉牛の飼育には経験が浅いため、まだ軌道には乗っていないが、将来的には各酪農家とも乳牛の一割や二割分を肉牛の飼育にもあてて、農家経済のプラスになる体制づくりをしてもらいたいが、今後の課題である。

保健婦の充足見通しと一歳六カ月児の検診は

（社会党）

問 近年、保健婦の業務が拡大されたことにより、現行四人の保健婦では大変なものがある。

幼児を持つ親は、一歳六カ月児の検診を望んでいるが、保健婦が充足されたらこの実施は可能と思うが、市長はどのように考えるか。

答 保健婦の充足については、明春二人を採用することに内定している。

一歳半児の検診については、市内の両医師に協力をしてもらって行なっており、今後もこの体制は続けていきたい。

福祉灯油実施の考えは

（社会党）

問 道は、今冬生活困窮世帯に対して、無利子の灯油購入貸付けを行なうようであるが、本市では独自に福祉灯油助成を実施する考えはないか

答 ことしの灯油価格は、依然値上がりが続いているので、福祉灯油は実施するが、今回の補正では予算化されていないため、三月議会にこれの予算を提出したい。

酪農振興対策と稚内牛乳の生産は

（社会党）

問 長い間かけて培ってきた酪農計画が、いままた乳価不安定の中で生産調整が行なわれているが、当面は利子補給や繰延べ償還に対する施策を行なうとともに、牛乳の消費拡大の一翼を担うためにも稚内牛乳の生産をしてはどうか。

答 酪農家が当面している危機を乗り切るためには、肉牛の育成肥育等とも関連させたり、資金の長期化対策も考えていきたい。

また、稚内牛乳の問題については、専門家の意見を聞きたいが、すでに市には既存の乳業メーカーもあるので、これらを利用しながら、消費拡大の体制をとってもらいたい。

天北炭の開発と今後の展望は

（市政ク）

問 いま国際的にエネルギー開発の促進が叫ばれている中にあって、天北石炭の開発がどのように図られようとしているのか伺いたい。

答 天北炭田の調査が始められたのは、国の第六次石炭政策の一環として、国内炭開発可能性調査ということであったが、いまだ調査の段階にある。

しかし、将来的には天北石炭と火力発電と関連させたり、液化プラントの導入などとタイアップさせたりする点では有望であると思う。

一般質問では、市立病院の改築位置と市民会館の建設位置については、それぞれ現在予定している場所にこだわることなく、検討していきたいとの市長の意向が表明されました。

昭和五十三年の一般会計、国民健康保険、臨港用地造成事業の両特別会計決算は、会期中に十二人構成の決算特別委員会を設置して、現地視察を含め、三日間にわたって慎重に審査を行ないました。

最終日の本会議では、要望意見書や決議書を全会一致で可決するとともに、請願と陳情については、いずれも本会議で採択されました。

福祉灯油の実現を求める要望決議

本道における灯油価格は地元小売店の価格は、昨年に比べ二倍の価格となり、寒冷地に居住する道民生活は、大きな被害を受けております。

とりわけ年金受給者の老人世帯、身体障害者、母子世帯、生活保護世帯等は、深刻な悩みとなっており、これらの世帯の生活を、灯油の高騰から守るために、緊急の対策が必要となっています。

このようなことから、左記の事項について、北海道は早急に積極的な措置を講じるよう、強く要望します

記

一、道が一九七五年に実施した「福祉灯油購入助成事業」を、再び実施すること。

提出先

北海道知事

宗谷地域に体育館の建設を

（市政ク）

問　市内の体育施設は、年々充実されてきているが、宗谷地域にも体育館を建設され地元住民のあすへの生産意欲向上のために、この建設を考えてはどうか。

答　宗谷地域に体育館はつくらない。宗谷はあくまでも一大観光地ということで、将来的には観光センターというものを作って、宗谷の歴史や資料を保管して展示したり、展望台を付随させたりして、宗谷の住民も使えるようにしたい。

市民文化会館の着工の遅れは

（共産党）

問　市民は文化会館の建設を待ち望んでいるが、依然として建設の見通しがたたないという原因は、何であるか明らかにしてもらいたい。

答　現在予定している文化会館の建設位置に警察署があり、この移転の動向が大きく左右しているので、建設予定地を別な方向に定めて検討している。

東中学校の将来的展望は

（共産党）

問　本市の人口が南地域に移動しているため、東中学校への入学者が増え続けている現状からは二、三年後に学級増は必至とみるが、市長はこれにどのように対処されるか

答　東中学校の生徒増が続いていくと思うので、将来的には独立校という前提の分校を設置して、これに対処していきたい。来年度から具体的な検討にはいっていきたい。

現在の東中学校

公営住宅の建設と北地域の環境整備は

（共産党）

問　旧国鉄北官舎跡地に公営住宅の建設を図られているが、緑地区にも雇用促進住宅を二棟八十戸を建設されるようであり、これとの相殺はないものと思うが、明らかにされたい。

　また、北地域については、周辺の環境整備を行なって、快適な北方地域にする時期でもあると思うがどうか。

答　旧国鉄官舎跡地に、来年と再来年で、3棟70戸位は建設したい。雇用促進住宅の建設は、予定どおりである。

　北地域の環境整備は、現状ではひどい所もあるようなので、住民の協力を得ながら、最善を尽していきたい。

新年のごあいさつ

議長　菱本榮二

市民の皆さん、明けましておめでとうございます。

近年、本市を取りまく経済環境は、依然として厳しいものがあるとは言え、これらに対応するための基幹産業は、80年代に向けてその体制づくりに尽力されている姿は、まことにご同慶に堪えません。

さらには、天北北部の酪農開発、石炭、ガス・石油エネルギー基地の推進、空港の整備拡充などなど、本市の重要懸案が山積している中にあって、市議会の果す役割を認識し、市民の皆さまの負託に応えてまいりたいと思います。

今後とも、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

国鉄運賃値上げ――

国土の均衡ある発展と地域社会の生活基盤安定のためには、国鉄地方交通線の維持とその運行は不可欠である。

しかし、運輸省、大蔵省国鉄当局は、国鉄の地方交通線部門が赤字の大きな原因になっているとの理由で

一、効率の悪い路線の廃止

一、効率の悪い路線のバス転換

一、線区別に割増運賃を取る地区別特別運賃の導入

一、地方交通線の運営を地方自治体を含めて第三セクター運営方式

一、国鉄運賃全般については、法定限度の範囲内において、適時適切に改定を行なうなどを打ち出しているがこのことは現状では到底受入れることはできない。

◎提出先

内閣総理大臣　運輸大臣
大蔵大臣　国鉄総裁　衆参両院議長

市議会'79年の総括

本会議

第1回（定例会）
・3月8日～23日まで16日間
第2回（臨時会）
・5月7日（1日間）
　◦正副議長の選挙
　◦各常任委員の指名
　◦各常任委員長の選任
　◦工事請負契約（5件）
　◦専決処分の承認（3件）
第3回（定例会）
・6月16日～25日まで10日間
第4回（定例会）
・9月1日～8日まで8日間
第5回（定例会）
・12月11日～25日まで15日間

各委員会

総務委員会（6回）
・所管事務に関する調査
・所管事務に関する調査
・私学振興助成金交付に関する請願（採択）

民生文教委員会（5回）
・所管事務に関する調査
・幹線市道の舗装化促進に関する請願（採択）

建設委員会（6回）
・所管事務に関する調査

公害対策特別委員会（2回）
・公害の実情に関する調査
・公害発生地帯の視察

産業経済委員会（5回）
・決算特別委員会（2回）

このほかに、議会の会期中に設置されます予算特別委員会、条例特別委員会、議案特別委員会、決算特別委員会等をその都度設けて、本会議から付託された議案等の審査にあたり、慎重に審議を加えてきました。
その内訳は、
・予算特別委員会（3回）
・条例特別委員会（2回）
・議案特別委員会（2回）

意見書

・公共料金値上げに関する要望意見書
・保険外負担解消実現に関する要望意見書
・私学助成に関する要望意見書
・稚内空港の第四次空港整備五ヵ年計画の促進に関する要望意見書
・季節労働者の生活保障と積雪寒冷地、冬期雇用促進給付金制度の期間延長に関する要望意見書
・石油類の安定供給確保に関する要望意見書
・戦後強制抑留者の補償等に関する要望意見書
・福祉、文教予算の拡充を求める要望意見書

決議書

・国鉄地方交通線の維持と運行確保に関する要望決議
・総合交通特別会計制度の強化に関する要望決議
・学級規模の縮少及び教職員定数改善の早期実現に関する要望決議
・大型店進出規制に関する決議
・公害対策特別委員会設置に関する決議
・福祉灯油の実現を要望する決議
・年金制度の改正に反対する要望決議
・国鉄運賃値上げ、ローカル線廃止、線区別運賃制度導入に反対する要望決議

請願と陳情

・学級規模の縮少及び教職員定数改善の早期実現を要請する請願（関係行政庁へ決議書を送付）
・私学振興助成金交付に関する請願（関係行政庁に意見書を送付）
・幹線市道の舗装促進
・福祉灯油の実現を要求する請願（北海道知事に決議書を送付）
・年金制度の改悪に反対する請願
・稚内大谷高等学校在校生の父母負担軽減に関する陳情
・難病患者、長期慢性疾患者の通院交通費の助成
・難病患者、長期慢性疾患患者の付添介護料の助成と付添介護人、医療ヘルパーの派遣
・大型店進出阻止規制
・曲渕消防詰所の改築並びに町内会館の拡張整備
・業務用水道料金の減額要請
・坂の下循環バス増便に関する陳情
・戦後ソ連地域下強制抑留者に対する補償等
・精神障害者対策の促進に関する陳情

議案特別委員会から

同委員会は、一般会計を始めとする総額十億五一二六万三千円の補正予算や人事院勧告による一般職員の給与改正条例、市長、教育長、市議会議員の特別職職員の報酬の引き上げや国民健康保険加入者の助産費六万円を八万円に引き上げる改正条例など8件の条例の一部改正案を慎重に審査し、3日間にわたる議案審査を終わりました。

以下、その審査の概要について、委員会報告書の中から抜すいしてお知らせします。

審査にはいる前に、同委員会では副委員長を互選して、岩泉重忠委員を全会一致で推せんし、選任しました。

議案特別委員会（委員長　小林侃四郎）に付託されていました5会計の補正予算は、臨港用地造成事業特別会計と国民健康保険特別会計については全会一致で、一般会計と市立病院事業会計・水道事業会計については、起立多数（反対＝共産党）をもって、それぞれ可決されました。

また、8件の条例の一部改正案については、全会一致でいずれも可決されました。

各委員会の審査から

議会に関するもの

●議員報酬の決定にあたって、基準を設けてはどうか

総務部、財政部に関するもの

●公有財産取得目的の件
●富士見地区開発に伴う用地先行取得見通し
福祉事務所に関するもの
●温泉保養センターの開館時間繰上げ検討
●温泉利用回数券発行の検討について

経済部、農業委員会に関するもの

●国に対する農家負債償還期間の繰り延べと利子補給の働きかけ
●素牛購入費予算化の見通しは
●明年度の生産乳量見込みと余乳対策は
●氷雪の広場の観光客入込み状況とPR検討の件
●スケトウタラ多目的利用研究開発

建設部に関するもの

●市内不良側溝整備
●大谷高校入口ガードレール改善
●ノシャップ海岸通り街灯設置について

教育委員会に関するもの

●増幅、恵北学校統廃合の見通し
●少年自然の家建設計画と道北青年の家存廃について
●緑地区のカラス駆除について

等々であります。

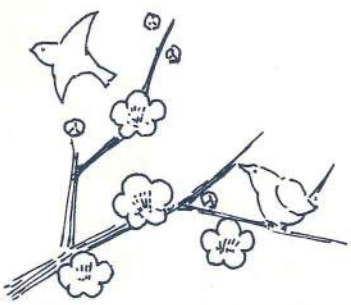
また、条例の審査においては、特に、市職員の給与条例においては、
●高齢者の昇給停止と定年制との関連
●職員の接遇態度改善について

等々であります。

互選とは、一般的には会議構成体の中の相互間で行なわれる選挙のことです。

地方議会では、**互選**の方法については会議規則の中でその手続きを規定しており、全会一致で選出される場合は、指名推せんによって決定します。

しかし、この指名推せんに対して、一人でも異議を唱える者がおりますと、**投票による選挙**で決められます。



年金制度の改正に反対する要望決議

現在、徐々に進行している高齢化社会において、年金保障制度が国民の強い関心事となっているが、こうした中にあって厚生大臣の諮問機関である年金制度基本懇談会や社会保険審議会、さらには厚生年金部会は、受給者が増えつつある事態に財源的な面から対処するためには、現行60歳からの支給開始を65歳に引き上げるべきとの意見具申をされた。

しかし、現実に高齢者の雇用対策が確立されていない現状では、この支給年齢の引き上げは、現代社会に逆行するものである。

記

一、支給開始年齢65歳反対
一、遺族年金の抜本的改善
一、福祉年金など経過年金の引き上げ
一、積立金管理運用の民主化

提出先
内閣総理大臣　大蔵大臣
厚生大臣

決算特別委員会から

昨年の9月議会に提案、12人の委員で構成する決算特別委員会（委員長　橋本岩一）に付託され、閉会中に審査をしていた市立病院事業会計決算と水道事業会計決算の認定。また、12月議会に提案された一般会計決算、国民健康保険特別会計決算、臨港用地造成事業特別会計決算は、同じく12人の委員をもって構成する決算特別委員会（委員長　杉本鯉一）に付託をし、会期中に審査を行なっていましたが、いずれも起立多数（いずれも共産党は反対）で原案のとおり認定されました。

以下、その審査の概要をお伝えします。

企業2会計

本委員会は、審査を行なう前に副委員長の互選を行ない、岡谷繁勝委員を選任しました。このあと、昭和53年度の決算に係る浄水場を始め、北辰ダムの建設現場、その他水道事業に要する各施設並びに病院関係施設の視察を行ない、以後2日間にわたって慎重に審査を行ないました。

水道事業会計については、

佐藤水道部長から説明を受けたのち質疑にはいり、

- 未収金徴収体制強化について
- 今後の水道料金引き上げの見通しについて
- 配水管工事に係る事故発生と事後処理の扱い並びに渉外員の配置について
- 埋設不回転メーターの現況と対策の見通し

また、病院事業会計については、太田事務局長から説明を受けたのち質疑にはいり、

- 固定医不在診療科の医師充足の見通しについて
- 人工透析治療の現況と将来の見通しについて
- 病院の改築と今後の経営見通しについて
- 当直業務委託に伴う電話応対改善と診料費（預り金）取り扱い検討について

等々でした。

一般・特別3会計

次に、一般会計と国民健康保険・臨港用地造成事業の両特別会計は、審査にはいる前に副委員長に矢木護委員を全会一致で選任し、各委員からの資料請求を受け、南中学校と水産物流通加工センターの前処理工場を視察し、審査にはいりました。

一般会計については、

総務部、財政部に関するもの

- 財産管理不要額の内容
- 職員研修旅費の内容と実績効果
- 稚内自動車教習所の市営移管

福祉事務所に関するもの

- 老人居室整備資金貸付け実績とPRの件
- 市民温泉保養センター費不要額の件

市民部に関するもの

- 火葬場内部改装と移転の見通し
- 郡部におけるじん芥収集業務改善
- し尿汲み取りに係る検量適正化

経済部、農業委員会に関するもの

- 市有林立木面積と蓄積状況の件
- 森林組合の業務に対する指導、監査の件
- 市内林業労働者数と白ろう病対策の件
- 農道整備促進並びに除雪対策の件
- 前浜埋立て計画の実施見通し
- 中小企業相談所長不在に伴って、業務に支障はないか

建設部に関するもの

- 各種工事の地元企業優先発注の件

教育委員会に関するもの

- 南中ベランダの防雨雪対策と渡り廊下結露の問題

等々でしたが、2特別会計については、質疑がありませんでした。

各委員会の審査から

福祉、文教予算の拡充を求める要望意見書

政府は、昭和55年度予算編成にあたり、財政再建を理由に福祉、文教関係予算の削減を企図しているが、これは各関係制度の後退となり、一層国民に負担増を強いる結果となる。

特に、これら諸制度の後退は、社会的に弱い立場にある人たちの生活負担増となることは、明らかである。

政府は、国民生活安定確保のためにも、これら関連予算を削減することなく、必要な措置を講ずるよう強く要望する。

提出先

内閣総理大臣　大蔵大臣

厚生大臣　文部大臣

請願・陳情の状況

今期定例会で受理した請願、陳情は、稚内地区労働組合協議会議長、柳田精三氏ほか192名の署名をもって提出された「福祉灯油の実現を求める請願」並びに同請願者名で「年金制度改悪に反対する請願」は、いずれも全会一致で採択されました。後者の「年金制度――」については、関係行政大臣に決議書を送付しました。

また、宗谷地区精神障害者家族会　たんぽぽ会会長　山下妙市氏から提出された「精神障害者対策の促進に関する陳情」は、全会一致で採択され、市長に送付しました。

なお、9月議会に提出され閉会中に審査をしておりました「幹線市道（オネトマナイ・タ来間）の舗装促進」の請願も、全会一致で採択となりましたので、これも市長に送付しました。

12月議会の提出議案とその結果

■……市長提案のとおり決ったもの……■

- 昭和54年度稚内市一般会計
- 〃　稚内市臨港用地造成事業特別会計
- 〃　稚内市国民健康保険特別会計
- 〃　公営企業市立稚内病院事業会計
- 〃　公営企業稚内市水道事業会計

} 補正予算……（起立多数）可決

- 稚内市職員給与条例の一部改正
- 〃　恩給条例の一部改正
- 退隠料等の年額に関する条例の一部改正

} いずれも人事院勧告に伴う改正……可決

- 稚内市常勤特別職の職員の給与及び旅費並びに市議会議員の報酬等に関する条例の一部改正
- 稚内市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正

} 報酬の引き上げに伴う改正……可決

- 稚内市国民健康保険条例の一部改正……可決
- 〃　住宅管理条例の一部改正……可決
- 教育委員会委員の任命について（松野一男氏を再任）……同意
- 稚内市住居表示実施区域の変更（ウエンナイ、エノシコマナイ、クサンル、末広町の各一部、新港町の全部）…可決
- あらたに生じた土地の確認（大岬の公有水面埋立地）……可決
- 字の区域の変更（上記を字大岬と呼称）……可決
- あらたに生じた土地の確認（富磯の公有水面埋立地）……可決
- 字の区域の変更（上記を字富磯と呼称）……可決
- 専決処分（港陸橋線を市道に認定）……可決
- 昭和55年における休暇日の特例に関する条例の制定……可決
- 昭和53年度稚内市一般会計
- 〃　稚内市臨港用地造成事業特別会計
- 〃　稚内市国民健康保険特別会計

} 決算……（起立多数）認定

- 〃　公営企業市立稚内病院事業会計
- 〃　公営企業稚内市水道事業会計

} 決算（9月議会で付託）……（起立多数）認定

■……採択された請願と陳情……■

- 幹線市道の舗装促進（夕来・オネトマナイ線）……採択
- 福祉灯油の実現を求める請願（道知事に決議書を送付）……採択
- 年金制度の改悪に反対する請願……採択
- 精神障害者対策の促進に関する陳情……採択

■……可決された意見書、決議書……■

- 福祉、文教予算の拡充を求める要望意見書……可決
- 福祉灯油の実現を求める要望決議……可決
- 国鉄運賃値上げ、ローカル線廃止、線区別運賃制導入に反対する要望決議……可決
- 年金制度の改正に反対する要望決議……可決

編集委員会から

● 市民の皆さん、明けましておめでとうございます。

本年から本号は、議会が終った次の月に発行できるよう、編集委員一同尽力したいと思いますので、市民の皆さんのご希望やご感想、ご批評等がありましたら、お寄せいただきたいと思います。

●編集委員が毎回苦労しておりますのが、表紙の写真です。年4回を通じて掲載できる題材、またはアイデアがありましたら、議会事務局までお知らせいただければ幸いです。

●連絡先は
稚内市中央3の13の15
議会事務局内
「編集委員会」宛です。
●電話　三―六一六一
内線二八一です。